

らいてうの家 〒386-2201 長野県上田市真田町長 1278-720

Tel/fax : 0268-74-1385

NPO 平塚らいてうの会 〒112-0002 東京都文京区小石川 5-10-20 5F

Tel/fax : 03-3818-8626

秋の森のめぐみ講座・10/6、7

一日目の庭の手入れは、今年の暑い夏で大きく伸び切った草刈りでした。1メートルを超える草丈を刈るのは大変でしたが、参加者みんなのパワーできれいにすることが出来ました。春に熊笹が花をつけたので笹はほとんど見当たらず、庭の景色が変わった様です。

二日目の北国街道巡りは、お天気に恵まれてゆったりと歴史散策をしました。会ニュースに記事は載せてあります。ご覧ください。



江戸時代 加賀藩の殿様が参勤交代で休憩をした家です。左手には立派な庭園があり、加賀藩の屋根瓦がある厠が保存されています。



～～今年もたくさんの方が来館されました～～

来館者からの感想

○すごく素敵な場所でした。(略)らいてうの女性解放運動、「青鞥」の出版のことは知っていましたが、平和運動などについては知らないことも多く勉強になりました。

○生まれた時(1950. 12. 10)、産婆さんに「ボンヤ」と言われた母は涙が出たそうです。「これからは戦争に行かずにすむ…」 非武装は大切…刀を持つと切りたくなる!!

○涼しい森の中の風とらいてうの気持ちに触れられてすがすがしい気持ちと平和の大切さを一段と考えさせられました。

○長い間来たいと思っていたらいてうの家にやっと来ることが出来ました。(略)自然に溶け込んだ所で、学生時代『山動く日来る ……』読みました。懐かしかったです。

○女性として仕事を持ち、学び働くことが現代でも難しい時、私たちの道を切り開いてくれたらいてう、死ぬまでに一度来たい!と願い、81歳になり実現しました。

今また戦争が世界のどこかで始まっています。今日の訪問や話を大切にして若い人にも声掛けしていきたいと思います。

平和アピールの2024年!!



今年度の「らいてうの家」は、「ガザ・ウクライナ・世界に平和を」の看板作りから始まりました。製作は、全て会員の手作業です。また、館内には<声明文>を掲げてウィッシュツリーに、来館者からアピールをして頂きました。たくさんの方が寄せてくださいました。

2024年度 ウィッシュツリーより

- ・戦争反対、平和が一番と願い、広め、集ってきました。今以上に多くの方に語り掛けます。
- ・今、世界で起こっている紛争、戦争。指導者に止める勇気をもってほしい。
- ・今さらながら平和のありがたさを感じています。戦争は絶対ダメ、反対です。
- ・自由にできる時間が持てて、自由に活動することが出来て、お互いを思いやれることが平和！
- ・戦争をやってはいけない！（2名）
- ・戦争のない世の中になってほしい！大人になったら、ともだちがふえますように。
- ・戦争は、すべてのものをこわすだけ。平和であってこそ、豊かなくらしが築かれる。
- ・信じられないような戦争が起きています。平和が何より大切なのに…。
- ・自然と平和を次の世代に残しましょう。私たちの責任として。
- ・私の孫、保育園で共に育ったあの子ども達に、あやしい戦いの風が吹かないように大きな声をあげたいです。
- ・!!Hentikan perang!! !!戦争やめろ!! 今、この時も虐殺が続いている。子どもの命も奪われている。戦争反対!!地球に平和を！
- ・人と人が戦う戦争絶対反対!! 戦いがなくなれば平和な社会がもどる。
- ・Cease fire Now! 即時停戦を！子どもをもう殺さないで！
- ・戦争しない国を!! 武力で平和はつくれないです。子や孫を戦地に送りたくない!!
- ・世界平和をみんなで声を大にして呼びかけましょう!! ロシア軍はすぐにウクライナから撤退せよ!!
- ・ウクライナ、ガザに一日もはやく平和を！人間らしく生きていけるのは平和があってこそ！ 世界中の人が手をつなげないものか…。
- ・軍力で戦争は解決できない。日本国憲法を生かし、人権が大切にされるように。
- ・憲法9条が危ない！失望することなく絶対守り抜きます。みんなと一緒に！
- ・「平和、自然、共同」の「らいてうの家、あらためて、このらいてうの思いを伝えてゆきたい。ジェンダー平等の元祖、らいてうに続こう！

上田市真田地域消費生活展に参加。らいてうの消費組合活動をアピールする。11/2

コロナ禍で中止になっていた消費生活展が久々に再開され、地元らいてうの会も参加しました。当日はあいにくの雨模様で来館者が心配されましたが、ホールで会合があって終了後に大勢の方が見学してくださり、持参した「らいてうの家パンフレット」「家案内」等すべて配布できました。

来年2025年は国際共同組合年になります。

今回の展示パネルは2枚のみでしたが、らいてうは、医療組合にも関心を持ち、組合発足の発起人のなかに「平塚らいてう」の名が記載されています。

